

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年8月21日(17:10~18:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	6人	人	人	9人

前回の改善計画
新規利用開始前にミーティングを開催し、情報の共有、理解を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果
介護支援専門員が得た情報を、利用開始前にミーティングにて共有された。ミーティングに参加できなかった職員は、アセスメントシート等で情報収集した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	4			9/9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	3			9/9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7	2			9/9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	5			9/9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・利用開始前に本人や家族、以前利用していた事業所の職員等から情報を得て、書面やミーティングで情報を共有している。・送迎時や介助場面等において、本人や家族の思いや不安を受容し、安心と信頼を得られるよう努めている。・新規利用者がサービスに慣れるまでは、意識的にコミュニケーションをとるように心掛けている。家族には連絡帳で伝えきれない利用中の様子を、電話や送迎時に直接伝え関係作りを図っている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	急な利用や退院に合わせた利用等で、利用開始までに期間がない時がある。その際、利用者や家族の思いや不安を受止めることが難しく、情報が不十分になる。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	利用開始前に知り得る事ができなかった情報や利用者の思い等を、信頼関係を築きながら早い段階で得られるよう利用者に関わる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年8月21日(18:00~18:50)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	1人	人	9人

前回の改善計画

日常の関わり全てが意思や意向を把握する機会と職員は捉え、利用者との会話や表現、しぐさ等から背景を探る。知り得た情報を記入すると共にミーティングで話し合い「本人の思い」の把握に活用する。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者との関わりの中で、「したい」事を聞き取り情報収集に努めた。その結果、利用者個々が行きたい場所へ外出した。認知症や障害等で自分の意思を上手く表現できない方については、趣味や生活歴から個別支援が行えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	6	2		9/9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	7			9/9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	4	5			9/9
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	7	2			9/9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用開始前はもちろん利用の途中でも、常にその方の意思をくみとり、援助目標を設定し介護計画書を作成している。
- ・現状に即した介護計画書が作成できるよう本人や家族、多職種と意見を交わしている。介護支援専門員と職員の情報交換が介護計画書に反映されている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

本人の「したい」と家族の「して欲しい」に相違があり、家族の「して欲しい」に職員が寄りすぎ、本人の「したい」意思を拾い切れていない事がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

本人の「したい」の意思を尊重する。本人の意思を理解して頂けるよう家族との話し合いの場を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年8月21日(18:50~19:50)

3. 日常生活の支援

メンバー 9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	3人	1人	人	9人

前回の改善計画

- ・利用開始後も日々の会話や家族・友人等から以前の暮らし方について追加で情報収集し、得た情報は記録に残す。ミーティングでも職員へ周知し共有する。
- ・アセスメントシート様式を見直し、以前の暮らし方やこだわり等を詳しく記入し情報を共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果

以前の暮らし方やこだわり等を詳しく記入し情報を共有しやすいようアセスメントシート様式を変更した。追加で収集した情報はアセスメントシートに赤字で記載すると共に、ミーティングでも周知し共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	6		9/9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	2			9/9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	6	1		9/9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	1			9/9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	9				9/9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用開始前に自宅に訪問し生活環境等を確認するとともに、本人や家族から生活暦等の聞き取りを行い把握している。
- ・本人の変化等は記録に残されると共に、1日3度のミーティングで職員間で共有し、その時々合った支援を行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

小さな変化に気づき管理者や介護支援専門員等に報告されてはいるが、記録に残されていないかたり、具体的に記載されていないため、情報が共有できていないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

経過記録や事故報告書・ヒヤリハット様式へ、具体的に記載できるように学習会を開催する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年8月22日(17:10~18:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	4人	人	人	9人

前回の改善計画

- ・地域資源についての学習会を継続して開催し、引き続き理解を深められるように努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

理解を深められるよう学習会を開催したが、異動等もあり職員個々でバラツキがある。
引き続き学習会を開催する。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	2		9/9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	7	1		9/9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	6	1		9/9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	4	2	2	9/9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・地域の馴染みの商店へ買い物や食事、足湯や理容店の利用など、個々の外出支援を行っている。
- ・地域ボランティアの受け入れ、地域の高齢者施設との交流、事業所広報誌の配布など、積極的に地域との交流を図っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者個々が暮らしている地域の民生委員や町内会長との接点が少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・利用者が暮らしている地域の民生委員と顔見知りになり、地域の方々から協力が頂けるような関係を構築する(地域資源マップを作成する)。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年8月22日(18:00~18:40)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	人	人	9人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・利用者個々が暮らしている地域資源を把握し、事業所と地域資源を活用し利用者を支援する。・利用者の自宅での様子や困りごとなど運営推進会議において具体的に発信し、助言をいただき地域での生活を支える。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者個々が暮らしている地域資源は学習会等により把握し、活用できた事例がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	6			9/9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	1			9/9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	9				9/9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7	2			9/9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・利用者個々の身体状況や生活背景、本人を支えている家族の都合も考慮し、必要なサービスを適切に提供している。又、地域の掃除・傾聴ボランティア、配食弁当、ふれあい収集(ゴミ収集)など、地域の資源も活用し支援している。・体調の変化が見られた際は、速やかに家族や個々の主治医、母体の協力医療機関と緊密な連絡をとり、適切な医療が受けられるよう支援している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	ニーズに合わせ「通い」「訪問」「宿泊」のサービスが提供されている利用者がある一方、家族の要望を優先している場合がある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
サービス内容が利用者や家族のニーズに合っているか、介護支援専門員の訪問時に三者で検討し決定する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年8月22日(18:40~19:30)

6. 連携・協働

メンバー 9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	3人	2人	人	9人

前回の改善計画

・以前交流を行っていた幼稚園や小学校へ再度働き掛け、子供達と利用者が楽しく交流ができる機会を設ける。

前回の改善計画に対する取組み結果

小学校との交流が復活し、子供達と利用者が楽しい時間が過ごせた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	9				9/9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	7			9/9
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	6	1		9/9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	4	4	1		9/9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ケアプランの更新時、利用者の状態変化時、福祉用具の貸与や変更等、適切に医療機関、訪問看護師、福祉用具専門相談員、理学療法士等と、担当者会議を設けている。
 ・町内会の掃除、避難訓練に参加している。町内の子供神輿やお祓い等、お越し頂いている。
 ・自治体等の会議にも参加している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

勤務形態や勤務時間の都合上、担当者会議や自治体の会議、町内会のイベント等に参加できる職員が限られてしまう。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

利用者の担当職員も福祉用具専門相談員との意見交換や状況報告、自治体の会議や町内会のイベント等に交代で参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年8月23日(17:10~17:40)

7. 運営

メンバー 9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9人	人	人	人	9人

前回の改善計画

地域住民に事業所の認識と支援の特徴の理解が深まるように、小規模多機能型居宅介護の特徴や事業所で開催する行事を地域向け広報誌で発信する。

前回の改善計画に対する取組み結果

年4回、地域向け広報誌を発行した。当事業所の特徴や事業所で開催する行事などを発信したが、地域に必要とされる拠点までとは至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	6			9/9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	9				9/9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	2			9/9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	4		9/9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・職員の意見が運営に反映できるよう個人面談や月1回、事業所会議を設けている。
- ・利用者には関わりの中で要望等を聞き取り、その意見等を反映している。また、年2回、満足度調査を実施し提供するサービスにおいて不足点等を把握し、サービスの充実を図っている。家族には介護支援専門員の訪問時や、利用時の連絡帳、送迎時の職員との会話などを通して意見を寄せてもらっている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

運営推進会議には管理者が参加しているが、会議で話し合われる意見など他職員へ伝えきれず、事業所運営に反映しきれていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

管理者以外の職員も運営推進会議に参加し、地域住民や家族からの意見など運営に反映する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年8月23日(17:40~18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	2人	人	人	9人

前回の改善計画

1ヶ月に1回開催している事業所会議においても改善策を評価し、より適切な対応を心掛け再発予防に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

ヒヤリハット、事故報告書の改善策について事業所会議にて再評価した結果、同様事故が減少した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	5			9/9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	2	1	9/9
③	地域連絡会に参加していますか	2	3	1	3	9/9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	7			9/9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・毎月、法人研修に参加したり、併設施設合同の内部研修を企画・参加し職員として必要とされる知識や技術を身に付けている。
- ・介護事故が未然に回避できるようカンファレンス、研修を開催している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域連絡会には、管理者や介護支援専門員が参加しており、介護職員には認識が薄い。
- ・外部研修に参加した際は、不参加職員へ研修資料を回覧し情報提供しているが、伝達講習の開催までに至っていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

外部研修に参加した職員は、研修資料を回覧後、伝達講習を開催し研修に参加していない職員のサービスの質や技術レベルの底上げを図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年8月23日(18:30~19:20)

9. 人権・プライバシー

メンバー 9人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	2人	人	人	9人

前回の改善計画

- ・プライバシー保護に関する研修への参加を継続する。
- ・実際の事例を定期的に検討することで、本人や周りの方に配慮ができる環境を作る。

前回の改善計画に対する取組み結果

法人主催の個人情報プライバシー保護研修に職員は参加し、責任の重さを自覚し、日々の行動に気をつけた。また、プライバシー保護について、日々の問題事例を検討した事で職員が互いに言い合える環境となった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9				9/9
②	虐待は行われていない	7	2			9/9
③	プライバシーが守られている	4	5			9/9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	9				9/9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9				9/9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・身体拘束や虐待、個人情報プライバシー保護については法人全体の研修、内部研修に参加し学んでいる。また、自宅での様子も見過ごされることがないように注意を払い未然防止に努めている。
- ・個人情報の利用目的・方針については、契約時に本人や家族に書面で説明し了承を得ているとともに、個人情報にあたる書類は鍵の掛かる書棚で適切に管理している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・カンファレンスなど利用者の見守りを行いながらホールにて開催している時があり、利用者に聞かれ不快にさせてしまっている可能性がある。
- ・成年後見制度を必要としている方はいないため活用していないが、必要な時に対応できるように研修へ参加し知識を深める必要がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

カンファレンスは事務所で開催し、プライバシー保護に努める。